



バイオブラン研究会 2014 年国際大会 講演概要

Session 1 バイオブラン—真の免疫調整物質—最新研究成果

日米欧から 3 名の専門家に、バイオブランの免疫調整作用についてそれぞれの分野から発表いただきました。



遠藤 雄三 先生

浜松医科大学腫瘍病理学 非常勤講師 医学博士

- 医学医療情報におけるバイオブラン免疫調整効果の評価について



Mamdooh Ghoneum 先生

UCLA/Drew 医科大学(アメリカ)神経生物学 理学博士

- バイオブランの最新研究：
バイオブランによる化学療法および放射線療法の副作用軽減効果



Rupert Handgretinger 先生

Tübingen 大学 Children's University Hospital(ドイツ) 医学博士

- 小児癌に対する NK 細胞を媒介とした抗腫瘍治療におけるバイオブランの効果

Session 2 免疫とがん—最新研究成果

がんの治療におけるバイオブランの新たなアプローチについて、臨床試験の報告を中心に最新の研究成果を発表していただきました。



Dimiyati Achmad 先生

Padjadjaran 大学医学部

Hasan Sadikin General Hospital(インドネシア)腫瘍外科 医学博士

- 局所進行乳癌のアントラサイクリンによるネオアジュバント化学療法における
バイオブランの免疫調整能



Dana Cholujová 先生

Cancer Research Institute (スロバキア)

➤ バイオブランが多発性骨髄腫患者の自然免疫を調整

Session 3 世界各国の医師による臨床報告とパネルディスカッション

日本、オーストラリア、台湾の4名の専門家に臨床の現場から様々なバイオブランの活用についてご報告いただきました。パネルディスカッションでは、浜松医科大学の遠藤雄三先生に座長を務めていただき、発表をしていただいた5名の先生方を中心に、バイオブランの可能性について討議していただきました。



飯塚 啓介 先生 医学博士(日本)
医療法人社団啓神会 Aiクリニック院長



平良 茂 先生 医学博士(日本)
医療法人白寿会 理事長
医療法人白寿会 統合医療ハートフルクリニック院長



Wei-Ta Cheng 先生 医学博士(台湾)
Dr.Cheng 小児クリニック



Garth Harris 先生(オーストラリア)
BSc. (BioMed), Dip Nut, DBM
Comprehensive Health Pty Ltd. 代表取締役



BioBran International Workshop 2014